

学校行事参加型＋講演会型＋在宅取組型



団体名	郡上市立小川小学校
実施日時	平成29年7月7日(金)・在宅取組 夏休み
会場	小学校 特別教室・各家庭
参加人数	17人(児童7名・保護者10人)
学習課題(分野)	「栄養のバランスのとれた朝ごはんの献立を考えよう！」 「朝ごはんを作ってみよう！」(食育)
運営者の願い	子ども達は、毎朝きちんと朝ごはんを食べているが、朝ごはんの栄養バランスにも目を向けてほしい。

学習の内容

<実施の流れ>

明宝学校地域保健連絡会のテーマ：「食べることを大切にできる子どもの育成」

↓ …毎年親子でできる食についての活動を行う。

H29.7.7 参観日に併せ「食育講話」を実施。

夏休み 在宅取組「朝ごはん作りを計画しよう！」・「朝ごはんを作ってみよう！」

<食育講話>

テーマ：「栄養のバランスのとれた朝ごはんの献立を考えよう」

講師：家庭教育学級長さん・担当教諭

対象：全校親子

- ① 担当教諭による紙芝居。
- ② 家庭教育学級長さんが児童と対話しながら、黒板に「栄養バランスのとれた朝ごはんの献立」の例を作っていく。
- ③ 親子で、わが家の「栄養バランスのとれた朝ごはんの献立」作りを行う。
 - ・親は、子どもの考えを認めながら、栄養のバランスや使う食材などを一緒に考えていく。



<活動のテーマに沿った紙芝居に見入る参加者の皆さん>



<楽しい対話で児童の発想豊かな朝食をまとめていく学級長さん>

<参加者の感想>

- ・黒板を使った絵での献立づくりが、とても分かりやすかった。子ども達の好みがそれぞれ違っておもしろかった。
- ・紙芝居がとても分かりやすく、子ども達も楽しんでた。
- ・子どもが進んで栄養バランスを考え、献立作りをしている姿は頼もしかった。普段給食の時間に学んでいるので、黄・赤・緑が頭に入っていて、スムーズに献立づくりができてよかった。

<在宅取組：「朝ごはんづくりを計画しよう！」「朝ごはんを作ってみよう」>

- ・食育講話で実際に献立作りをした経験を活かし、夏休みに親子で朝食の献立を考え、朝食づくりを実践する。
- ・どの家庭も同じスタンスで取り組めるよう、事前に取組の目的、内容、カードの使い方等についてお便りで伝えられた。
- ・取組の様子、感想などをカードに記録し、休み明けに学校に提出。
- ・給食後に、それぞれの取組を全員が発表し、交流の場を設けられた。

<取組後の感想>

- ・家にたくさんあった夏野菜で、子どもたちでも作れるかんたん朝ごはんができてよかったです。ぐちゃたまはフライパンで玉子を割っていたためだけなので、普段の生活でも作ってもらおうと思います。



<地域との連携を活かした取組>

明宝学校・地域保健連絡会

・乳幼児期から中学校までの「明宝の子ども達の元気づくり」を願い活動されている。

【テーマ：食べることを大切にできる子どもの育成】



【中学校卒業時まで身に付けてほしい2つの力】

- ① 主食・主菜・副菜のそろった一食を作ることができる。
- ② 自分で健康的な食事を選ぶことができる



【発育・発達(5段階)に応じた目標】

・乳幼児→園児→小学生低学年→高学年→中学生

発達段階に応じた「食べることを大切にする活動」を積み重ねられている。

<学校と役員の協力>

学校

- ・児童は、給食時の献立紹介で、献立が黄・赤・緑の材料からできていることを学んでいる。
- ・講話の始めには、担当教諭が紙芝居を読み、活動への関心を高められた。
- ・1～6年生の親子が、一緒に楽しく取り組めるようなカードの工夫。

役員

- ・「朝ごはんの献立づくり」の全体進行を役員さんが務められた。
- ・親子の献立作りにつなげ、全員が「朝ごはんの献立」を考えることができた。

<学びを実践に>

講話＋在宅取組

【講話の学び】→

【夏休みの在宅取組】

- ①「朝ごはん作りを計画しよう！」
 - ②「朝ごはんを作ってみよう！」
- ・取組後には、子ども達の活動を見守る温かい言葉がかけられた。